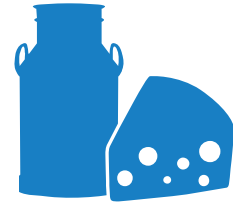


牛乳・乳製品



◆飼養動向

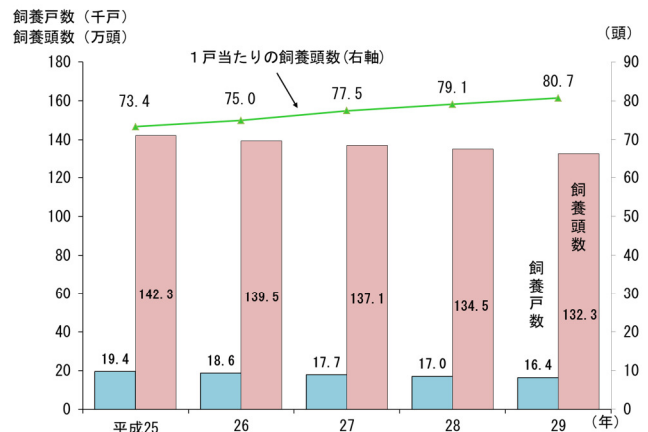
29年2月現在の乳用牛飼養頭数、1.6%減少

乳用牛の飼養頭数は、近年減少傾向で推移しており、平成29年2月には132万3000頭(前年比1.6%減)と前年をわずかに下回った。

飼養戸数は、後継者不足に加え、高齢化などによる廃業から、29年には前年を600戸下回る1万6400戸(同3.5%減)とやや減少した。

この結果、同年の1戸当たり飼養頭数は、前年を1.6頭上回る80.7頭(同2.0%増)となった(図1)。

図1 乳用牛の飼養戸数および頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

注：各年2月1日現在。なお、29年は概算値。

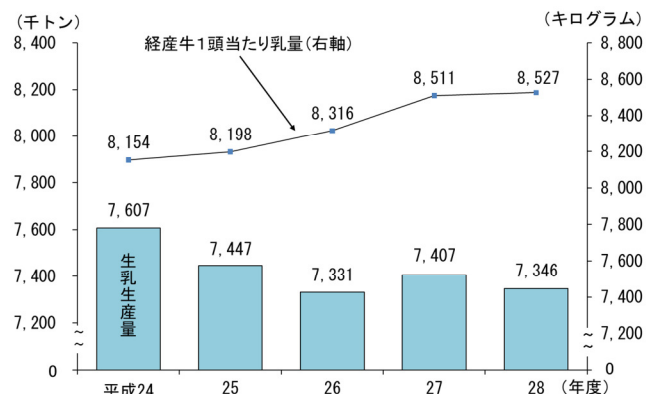
◆生乳生産量

28年度の生乳生産量、0.8%減少

生乳生産量は、平成8年度の約870万トン进行ピークに、都府県での減少により、減少傾向で推移してきた。24年度は生産の回復がみられ、760万7356トン(前年度比1.0%増)とわずかに増加し、7年ぶりに前年度を上回ったが、25年度以降、再び減少に転じた。27年度は1頭当たり乳量の増加により、3年ぶりの増加に転じたものの、28年度は飼養頭数が減少したことから734万5954トン(同0.8%減)とわずかに減少となった。

一方、経産牛1頭当たり乳量を見ると、28年度は8527キログラム(同0.2%増)と5年連続で増加した(図2)。

図2 生乳生産量および経産牛1頭当たり乳量(全国)



資料：農林水産省「畜産統計」、「家畜の飼養動向」および「牛乳乳製品統計」

注：28年度の経産牛1頭当たり乳量は概算値。

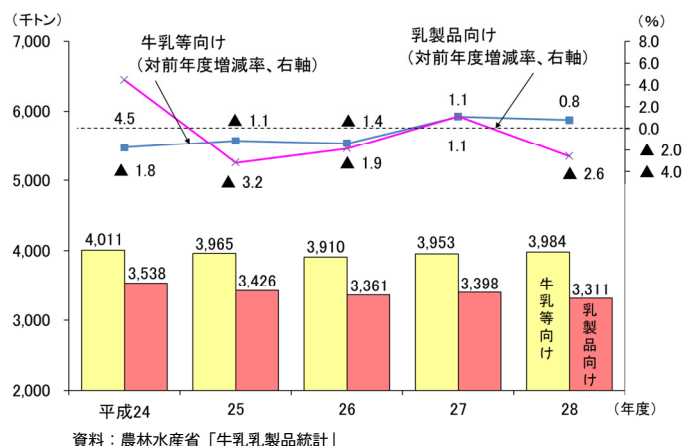
◆牛乳等向け処理量

28年度の牛乳等向け処理量、0.8%増

生乳の牛乳等向け処理量は、消費動向を反映して推移しているが、近年は少子高齢化やその他飲料との競合などから消費が伸び悩んでおり、平成6年度をピークに12年連続で減少した。しかし、27年度は、はっ酵乳需要などで増加に転じ、28年度は、牛乳需要の高まりに加え、年初にテレビ報道などで牛乳の健康面での効果について取り上げられたこともあり、398万4122トン（前年度比0.8%増）と2年連続で増加となった（図3）。

また、28年度は、国内生産量に占める牛乳等向け処理量の割合（市乳化率）は54.2%と、前年度より0.8ポイント高くなった。

図3 用途別処理量



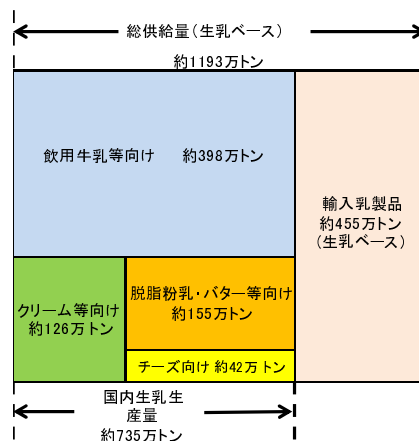
◆乳製品向け処理量

28年度の乳製品向け処理量、2.6%減少

生乳生産量が減少する中、乳製品向け処理量は、平成24年度に353万8102トン（前年度比4.5%増）と3年ぶりに前年度を上回った。25年度は生乳生産の減少を受け342万5551トン（同3.2%減）、26年度は336万1201トン（同1.9%減）と2年連続で前年度を下回った。27年度は、生乳生産量の回復により増加に転じたものの、28年度は生乳生産量の減少に加え、牛乳などの需要が高まったことで牛乳等向け処理量が増えたことから、331万537トン（同2.6%減）と前年度を下回った（図3）。28年度の乳製品向け処理量のうち、クリーム等向け処理量は、コンビニエンスストア向けデザート類などの需要の伸びが落ち着いたことから、126万トンとなった。

この結果、同年度の総供給量は、国内生乳生産が約735万トン、輸入乳製品（生乳ベース）が約455万トンとなった（図4）。

図4 生乳の需給構造の概要（28年度）



資料：農林水産省「畜産をめぐる情勢」

注1：四捨五入の関係で、必ずしも計が文中の数字と一致しない。

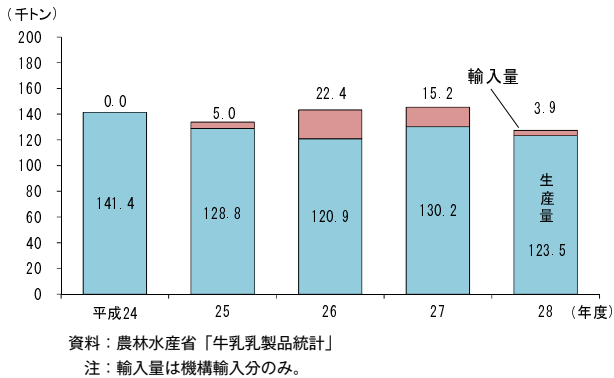
注2：国内生乳生産量の中には、このほか自家消費などに仕向けられたものがある。

◆脱脂粉乳

28年度の期末在庫量は6.4%減、大口需要者価格は横ばい

平成28年度の脱脂粉乳の生産量は、生乳生産量が前年を下回り、特定乳製品向けのうち、脱脂粉乳・バター向け等の生乳処理量も減少したことなどから、12万3500トン(前年度比5.1%減)と前年度を下回った(図5)。

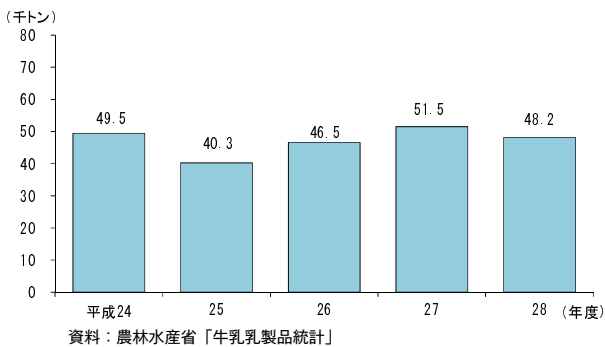
図5 脱脂粉乳の生産量・輸入量



同年度の推定出回り量は、はっ酵乳向け需要などが増加したことから13万6720トン(同0.4%増)とわずかに前年度を上回った。

この結果、同年度の民間期末在庫量は、4万8199トン(同6.4%減)と5万トンを下回った(図6)。

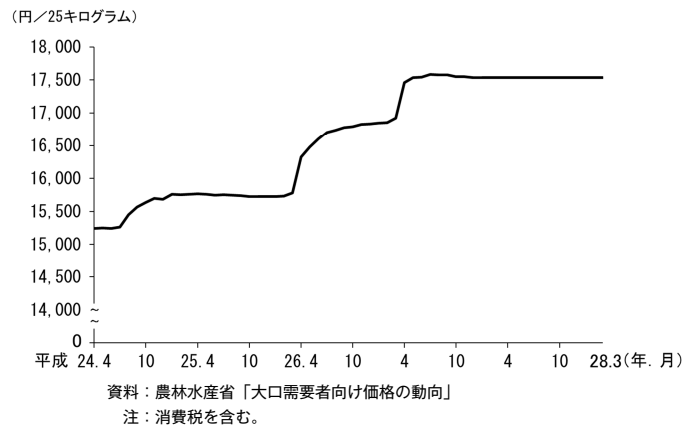
図6 脱脂粉乳の民間期末在庫量



脱脂粉乳の大口需要者価格は、23年度以降、配合飼料価格の上昇に伴う加工原料乳価の引き上げなどのコスト増により上昇傾向で推移し、ひっ迫した需給状況となった26年度や27年度も、高値を更新した。28年度は、前年度に続き、堅調なはっ酵乳需要などを背景に同1万7537円(前年同)となった(図7)。

なお、機構は28年度、カレントアクセス分の1万トンに加え、追加輸入分として5000トンの脱脂粉乳の輸入契約を締結した。

図7 脱脂粉乳の大口需要者価格

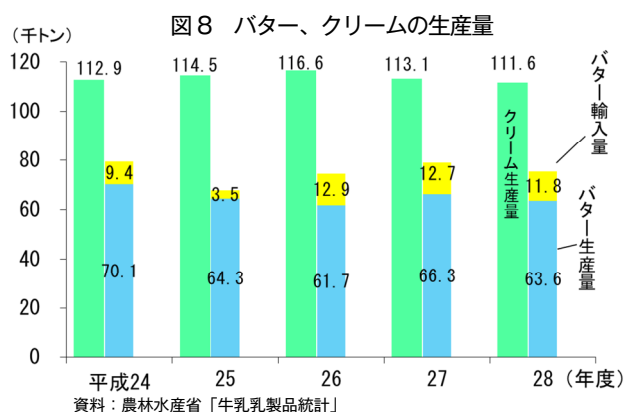


◆バター・クリーム

バターの28年度の期末在庫量は11.0%増加、大口需要者価格は下落

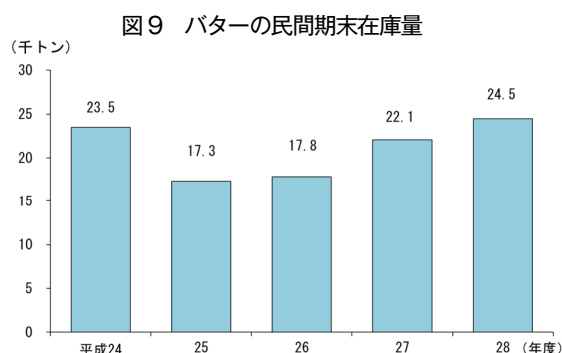
平成28年度のバターの生産量は、生乳生産量が前年を下回り、特定乳製品向けのうち、脱脂粉乳・バター等向けの生乳処理量も減少したことなどから、6万3583トン（前年度比4.1%減）とやや減少した。

同年度のクリームの生産量は、コンビニエンスストア向けデザート類などの需要が一服したことから、11万1585トン（同1.4%減）となった（図8）。



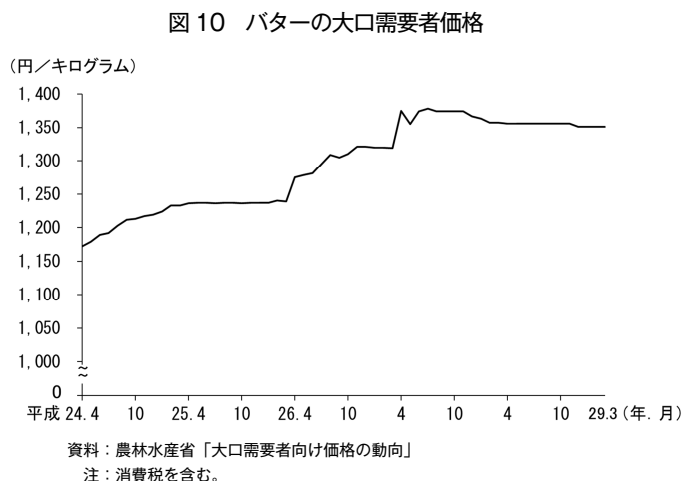
同年度の推定出回り量は、生産量や輸入量の増加により7万3215トン（同2.7%減）と、前年度と比べわずかに減少した。

また、民間期末在庫量は、主に輸入量の増加により、2万4481トン（同11.0%増）とかなり大きく増加した（図9）。



バターの大口需要者価格は、23年度以降、低い在庫水準や、配合飼料価格の上昇に伴う加工原料乳価の引き上げなどのコスト増から上昇基調で推移している。28年度は、生産量は減少したものの、輸入量が増加したこともあり、1キログラム当たり平均1354円（同1.0%安）と前年度からわずかに下落した（図10）。

なお、こうした需給動向を受け、機構は28年度、カレントアクセス分の7000トンに加え、追加輸入分として4862トンのバターの輸入契約を締結した。



◆チーズ

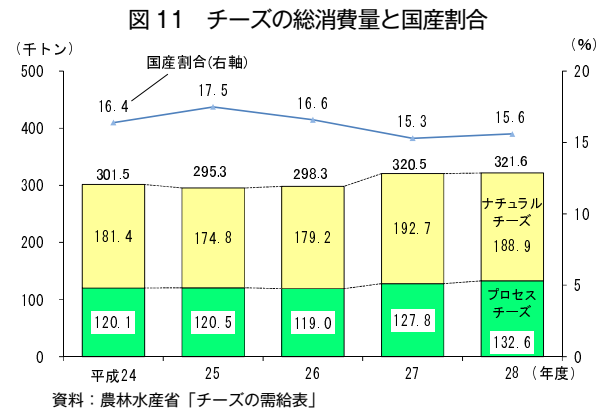
28年度の総消費量、前年度並み

チーズの総消費量の推移

チーズの総消費量は、食べる機会が増えたこと、種類の増加や中食化の進展により、おおむね増加傾向で推移している。

平成28年度の国産ナチュラルチーズ生産量は、4万7140トン（前年度比2.5%増）とわずかに増加したものの、直接消費用ナチュラルチーズ消費量は18万8944トン（同1.9%減）とわずかに減少した。

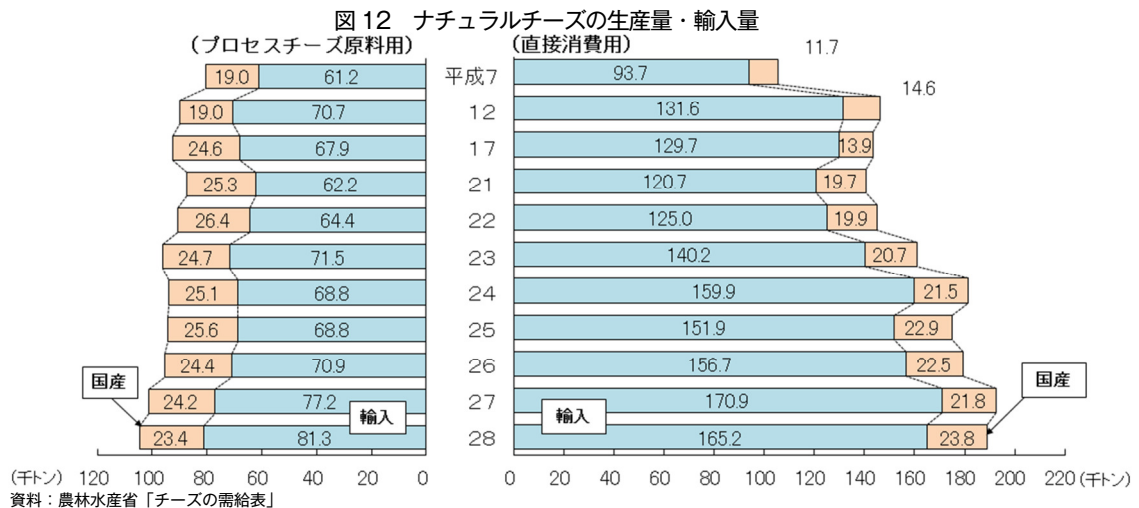
一方、プロセスチーズ消費量は13万2605トン（同3.7%増）とやや増加となり、ナチュラルチーズとプロセスチーズを合わせた総消費量は32万1549トン（同0.3%増）と、前年度並みとなった（図11）。



ナチュラルチーズの生産量・輸入量

平成28年度のナチュラルチーズの輸入量（プロセスチーズ原料用+直接消費用）は、24万6446トン（前年度比0.6%減）とわずかに減少となった。

内訳を見ると、プロセスチーズ原料用は、8万1287トン（同5.3%増）とやや増加したものの、直接消費用は、16万5159トン（同3.3%減）とやや減少した（図12）。



国産ナチュラルチーズの生産量（プロセスチーズ原料用+直接消費用）は、需要の増加を背景に堅調に推移している。

28年度は、特定乳製品向けのうちチーズ向け生乳処理量が減少したことから、4万7140トン（同2.5%

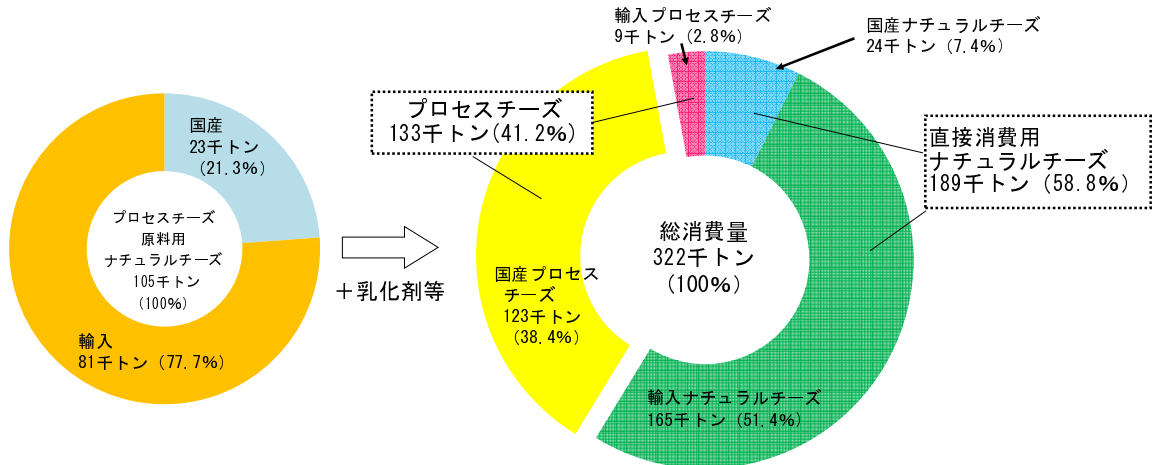
増）となった。内訳を見ると、プロセスチーズ原料用が2万3355トン（同3.4%減）とやや減少したものの、直接消費用は2万3785トン（同9.0%増）とかなりの程度増加した。

チーズ総消費量の内訳

平成28年度のチーズ総消費量に占める国産チーズの割合は、国内生産量が減少した一方、輸入チーズが増加したことから15.6%（ナチュラルチーズベースに換算した場合の自給率）となり、前年度より0.3ポイント増加した。

また、プロセスチーズ原料用のナチュラルチーズに占める国産の割合も、22.3%と1.5ポイント低下した（図13）。

図13 28年度のチーズ総消費量の内訳



資料：農林水産省「チーズの需給表」

注1：直接消費用ナチュラルチーズとは、プロセスチーズ原料用以外のものを指し業務用その他の原料用を含む。

注2：四捨五入の関係で、必ずしも合計値が文中の数字と一致しない。

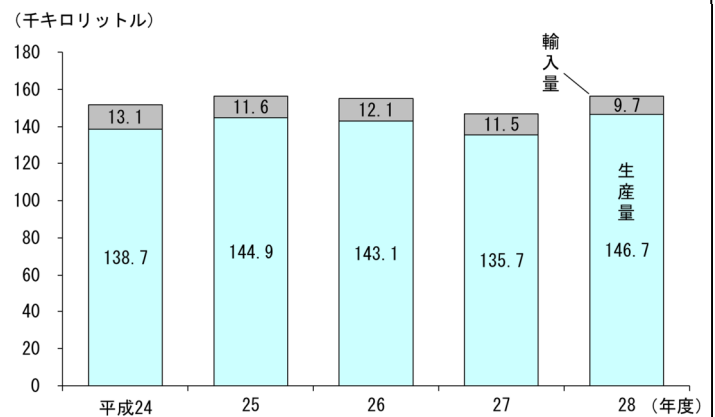
◆アイスクリーム

28年度の生産量、8.1%増加

アイスクリームは、近年、季節に応じて乳脂肪分や風味を変えるなどの企業努力による豊富な品揃えなどにより、消費者の購買頻度が高まり、平成28年度の実生産量は、14万6709キロリットル（前年度比8.1%増）と増加した。

また、同年度の輸入量は、国内の実生産量が増加したことなどから9724キロリットル（同15.1%減）とかなり大きく減少した（図14）。

図14 アイスクリームの生産量および輸入量



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、財務省「貿易統計」

注：輸入量は、1トン=1.455キロリットルで換算。